



■ 佐藤 豊 (教授・植物遺伝研究室)

名古屋大学農学部農芸化学科卒業、名古屋大学院生命農学研究科博士課程修了。カリフォルニア大学バークレー校、名古屋大学准教授などを経て、2016年より国立遺伝学研究所に着任。

■ 1700系統以上の野生イネ

私たちの研究グループは野生イネの繁殖に関わる様々な形質の発現機構を解析しています。また、遺伝研が保有する1700系統以上の野生イネ遺伝資源の維持管理と配布事業を担当しています。遺伝研の野生イネは1950年代以降、かつての遺伝研教授であった岡彦一博士や森島啓子博士らの20回近い調査旅行により世界各地から収集された系統が現在まで維持されています。初期の収集は「栽培稲の起源に関する研究」という研究プロジェクトへのロックフェラー財団からの巨額の研究資金提供により行われました。このプロジェクトは、当時の遺伝研所長以下多数の研究者が関わって進められており、木村資生博士は集団遺伝学的解析を担当していた記録が残されています。記念講演会で木村博士との関わりもあった遺伝研野生イネの紹介ができることを嬉しく思います。